

## ガンマナイフ治療

脳神経外科 森 鑑二



ガンマナイフとは放射線治療の一種である「定位的放射線治療」のための装置です。この装置は、頭部を器械に固定した後、細かく移動させることで、**0.1mmの精度で病変部に放射線を集中的に当てることができます。**これにより、従来は10回(2週間)程度以上必要であった、脳腫瘍に対する放射線治療が2～3日の入院で可能になりました。**周囲の脳などへの被曝も少なくできます。**そのため、認知能低下などの危険性も低減できました。

また、「手術が危険であったり手術では摘出できない」部位の腫瘍や、「高齢である」、「手術に耐える全身状態ではない」患者様にも安全に治療することが**可能になっています。**さらに放射線の効果が少ないと考えられていた腫瘍の一部に対しても、ガンマナイフは効果的であることがわかるなど、治療を受けられる脳疾患や、その患者様を拡大してきました。当院では、現在までに約2,000例の治療を行ってきました。患者様の状態、病変の数、大きさ、性状などに応じて様々な工夫を用いて治療し、安全に高い治療効果をあげています。



## 切らずに治す脳卒中 ～脳血管内治療とは？

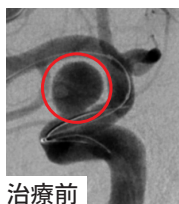
脳神経外科 豊田 真吾

## ■脳血管内治療とは

(※)カテーテルとは細い管状の治療器具のこと

細いカテーテル(※)を使って、血管内部から脳の病気を治す新しい分野です。**脳血管内治療の利点は、ご高齢の患者様や、体力に不安のある患者様に対して、体に負担をかけずに治療できることです。**この「切らずに治す」新しい治療法によって、今までの開頭外科手術では治療が難しかった脳卒中の原因となる様々な病気が、治療できるようになってきました。

## 治療例1 クモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤の治療



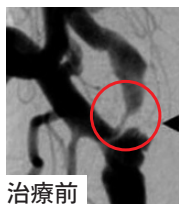
治療前



治療後

70代女性、他院で指摘された未破裂脳動脈瘤に対して、脳動脈瘤コイル塞栓術を施行いたしました。**脳動脈瘤がコイルにより完全に塞栓されていることが確認できます。**患者様は治療後5日目にお元気に退院されております。

## 治療例2 脳梗塞の原因となる内頸動脈狭窄症の治療



治療前



治療後

80代女性、脳梗塞の治療中に発見された内頸動脈狭窄症に対して、局所麻酔下で頸動脈ステント留置術を施行いたしました。**細くなっていた内頸動脈が十分にステントで拡張していることが確認できます。**患者様は治療後5日目にお元気に退院されております。

当院は、我が国でもまだ数少ない日本脳神経血管内治療学会指導医が常勤する認定研修施設です。脳血管内治療について詳しくお知りになりたい方は、当院脳神経外科担当医にぜひご相談ください。

独立行政法人 労働者健康福祉機構 **関西ろうさい病院**

尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)

HP <http://www.kanrou.net/>ブログ <http://www.kanrou.net/blog>

発行人 林 紀夫 編集人 堤 圭介

